
エンベデッドコンピュータARシリーズ

BIOS説明書

MEMO

はじめに

このたびは、弊社のエンベデッドコンピュータ AR シリーズをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品の OS インストール方法や BIOS SETUP の設定方法について解説しています。

本書をご覧いただき、本製品を正しくお使いいただきますよう、お願いいたします。

2004 年 7 月

PS/2 は、米国 IBM の米国での登録商標です。

インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

その他、本文中で記載している会社名および商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。なお、本文中では ™ マークおよび ® マークを表記していません。

Copyright© 1985-2004 Phoenix Technologies Ltd. All Rights Reserved.

All Rights Reserved, Copyright© PFU LIMITED 2004

安全にお使いいただくために

本製品に添付のマニュアルには、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。

弊社は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく本製品を安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。本製品をお使いの際は、各マニュアルをよくお読みになり、理解された上でご使用ください。また、マニュアルは本製品の使用中にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本書の読み方

1

本書の構成内容、本書での表記に関する注意事項などについて説明します。

2

●マニュアル体系

本製品には以下のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

付

『取扱説明書』

本製品の仕様や基本的な取り扱い方法、トラブルの対処方法について説明しています。本製品をご使用前に必ずお読みください。

『BIOS 説明書』（本書）

OS のインストール方法や、ハードウェア環境を設定するためのプログラムである BIOS SETUP の仕様と操作方法について説明しています。OS をインストールする際や、ご購入時にあらかじめ設定されている BIOS の設定を変更する場合にお読みください。

●本書の構成について

第 1 章 OS のインストール

OS のインストール方法について説明します。

第 2 章 BIOS SETUP




BIOS SETUP の概要およびメニューの項目について、説明します。

付録

BIOS メッセージや留意事項について説明します。

●本書の表記について

本書で使用している記号とその意味を以下に示します。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 備考	操作に関する補足事項を記述しています。必要に応じてお読みください。
 参照	関連する情報が記載されているマニュアルを示したり、参照先を示しています。必要に応じてお読みください。

●略称

本書では、以下の製品名称について省略して表記する場合がありますので、ご了承ください。

製品名称	略称
エンベデッドコンピュータ AR シリーズ	本製品、本体
Microsoft® Windows® XP Professional operating system、 または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	Windows XP
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system	Windows 2000
Red Hat Linux 9、Red Hat Linux 8.0、Red Hat Linux 7.3	Linux

目次

はじめに	i
安全にお使いいただくために	ii
本書の読み方	iii
● マニュアル体系	iii
● 本書の構成について	iii
● 本書の表記について	iv
● 略称	iv

目次	v
----------	---

第 1 章 OS のインストール	1
1.1 対応 OS	1
1.2 Windows 2000 のインストール	1
(1) インストール手順	1
1.3 Windows XP のインストール	2
(1) インストール手順	2
1.4 Linux のインストール	2
(1) インストール手順	2
第 2 章 BIOS SETUP	3
2.1 BIOS SETUP について	3
(1) BIOS SETUP の操作	4
2.2 BIOS SETUP のメニュー	7
(1) Main メニュー	7
(2) Main メニューのサブメニュー	9
(3) Advanced メニュー	12
(4) Advanced メニューのサブメニュー	14
(5) Power メニュー	17
(6) Boot メニュー	20
(7) Boot メニューのサブメニュー	21
(8) Exit メニュー	23

付録 A	BIOS メッセージ	25
付録 B	BIOS SETUP 設定シート	27
付録 C	デバイスドライバについて	30
	(1) デバイスドライバ	30
	(2) チップセットドライバのインストール	30
	(3) ディスプレイドライバのインストール	31
	(4) LAN ドライバのインストール	31
	(5) オーディオドライバのインストール	32
	索引	33

この章では、OS のインストール方法について説明します。



本製品に OS をインストールするには、USB 接続の CD-ROM ドライブが必要です。

1.1 対応 OS

本製品で対応している OS は、以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® XP Professional operating system
- Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
- Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
- Red Hat Linux 9
- Red Hat Linux 8.0
- Red Hat Linux 7.3

1.2 Windows 2000 のインストール

(1) インストール手順

- 1 本体前面の USB コネクタに、USB 接続の CD-ROM ドライブを接続します。



OS インストール時には、CD-ROM ドライブを USB 1.1 のポート（本体前面）に接続してください。

USB 2.0 のポートに接続した場合、OS のインストールができません。USB 2.0 のポートが使用できるのは、OS のインストール後です。

- 2 Windows 2000 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。



Windows 2000 の CD-ROM は、Service Pack 4 適用済みで市販されているものをご購入ください。

Service Pack 未適用の媒体の場合、USB CD-ROM ドライブのモデルによっては認識に失敗し、インストールできない場合があります。

- 3 システムを再起動して、Windows 2000 のインストールを開始します。表示されるメッセージに従って、インストールを続けてください。

1.3 Windows XP のインストール

(1) インストール手順

- 1 本体前面の USB コネクタに、USB 接続の CD-ROM ドライブを接続します。



OS インストール時には、CD-ROM ドライブを USB 1.1 のポート（本体前面）に接続してください。

USB 2.0 のポートに接続した場合、OS のインストールができません。USB 2.0 のポートが使用できるのは、OS のインストール後です。

- 2 Windows XP の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
- 3 システムを再起動して Windows XP のインストールを開始します。
表示されるメッセージに従って、インストールを続けてください。

1.4 Linux のインストール

(1) インストール手順

- 1 本体前面の USB コネクタに、USB 接続の CD-ROM ドライブを接続します。



OS インストール時には、CD-ROM ドライブを USB 1.1 のポート（本体前面）に接続してください。

USB 2.0 のポートに接続した場合、OS のインストールができません。USB 2.0 のポートが使用できるのは、OS のインストール後です。

- 2 Linux の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
- 3 システムを再起動して Linux のインストールを開始します。
表示されるメッセージに従って、インストールを続けてください。

第 2 章 BIOS SETUP

この章では、BIOS SETUP について説明します。

2.1 BIOS SETUP について

BIOS SETUP の概要を説明します。

BIOS SETUP とは

BIOS SETUP とは、ハードウェア環境を設定するためのプログラムです。通常は、BIOS SETUP で環境を変更する必要はありません。必要に応じて行います。

BIOS SETUP が必要な場合

BIOS SETUP が必要な場合の一例を以下に示します。

- 起動ドライブの優先順位を変更する場合
- インストールする OS を変更する場合
- POST (Power On Self Test) で BIOS SETUP に関するエラーメッセージが表示された場合
- 変更していた設定値を、一時的に工場出荷設定値に戻した場合



備考

BIOS SETUP で設定した内容は、本製品内の CMOS RAM に記憶されます。この CMOS RAM は、本製品に実装されたバックアップ用バッテリーによって記憶した内容を保存しています。

(1) BIOS SETUP の操作

BIOS SETUP の起動、終了および設定変更の方法について説明します。

● BIOS SETUP の起動

BIOS SETUP は、POST 中に画面左下に "Press <F2> to enter SETUP" と表示されている間に【F2】キーを押すと起動されます。以下に、画面例を示します。

メニューバー

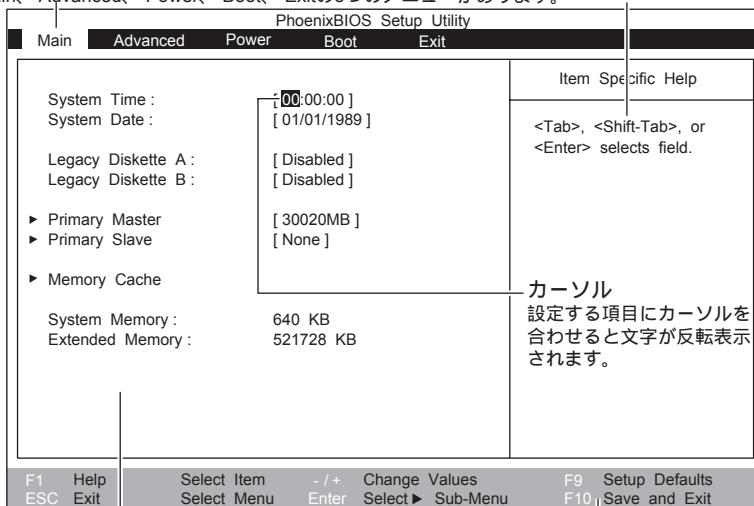
メニューの名称が表示されます。

Main、Advanced、Power、Boot、Exitの5つのメニューがあります。

ヘルプフィールド

カーソルが位置付けられた

項目の内容が表示されます。



設定フィールド

各メニューで設定する項目と設定値が表示されます。

キー一覧

設定時に使えるキーの一覧です。

● BIOS SETUP で使用するキー

BIOS SETUP の実行時は、使用できるキーが画面下に一覧表示されます。使用できるキーと意味について以下に示します。

キー	意味
F1 (Alt+H)	BIOS SETUP に関する全体のヘルプが表示されます。
Esc	Exit メニューに移動します。ただし、サブメニューを表示している場合は、メニューに戻ります。
← →	メニューを切り替えます。
↑ ↓	設定する項目にカーソルを移動します。
- / +	項目の設定値を変更します。
F9	すべてのメニューの設定値を標準設定に戻します。
F10	設定内容を CMOS RAM に保存して、BIOS SETUP を終了します。

キー	意味
Enter	▶ が付いている項目で【Enter】キーを押すと、サブメニューが表示されます。

● BIOS SETUP による設定の変更方法

BIOS SETUP の操作は、すべてキーボードから行います。

操作手順を以下に示します。

• すべての設定内容を一度に工場出荷設定値に戻すには

- Exit メニューの「Load Setup Defaults」を選択し、【Enter】キーを押します。
または、メニューおよびサブメニュー画面で【F9】キーを押します。
「Load default configuration now?」「Yes」「No」と表示されます。
- 「Yes」を選択し、【Enter】キーを押します。
すべての設定内容が標準設定に戻ります。

• すべての設定内容を一度に変更前の内容に戻すには

- Exit メニューの「Discard Changes」を選択し、【Enter】キーを押します。
「Load previous configuration now?」「Yes」「No」と表示されます。
- 「Yes」を選択し、【Enter】キーを押します。
すべての設定内容が変更前の内容に戻ります。



Exit メニューの「Save Changes」で変更内容を保存した場合は、変更前の状態に戻すことはできません。

• 設定した内容をいったん CMOS RAM に保存するには

- Exit メニューの「Save Changes」を選択し、【Enter】キーを押します。
「Save configuration changes now?」「Yes」「No」と表示されます。
- 「Yes」を選択し、【Enter】キーを押します。
設定内容が CMOS RAM に保存されます。この場合、BIOS SETUP は終了しないので、続けて設定内容を変更することができます。

● BIOS SETUP の終了

BIOS SETUP を終了する場合の手順を以下に示します。

• 変更した設定内容を保存して終了するとき

- 【Esc】キーを押します。サブメニューが表示されている場合は、さらにもう 1 回押します。
Exit メニューが表示されます。
- 「Exit Saving Changes」を選択し、【Enter】キーを押します。
「Save configuration changes and exit now?」「Yes」「No」と表示されます。

3 「Yes」を選択し、【Enter】キーを押します。



各メニュー画面から【F10】キーを押すと、BIOS SETUP をすぐに終了させることができます。この場合、手順2のメッセージが表示されるので、「Yes」を選択し、【Enter】キーを押します。

● 変更した設定内容を保存しないで終了するとき

1 【Esc】キーを押します。サブメニューが表示されている場合は、さらにもう1回押します。

Exit メニューが表示されます。

2 「Exit Discarding Changes」を選択し、【Enter】キーを押します。

「Configuration has not been saved! Save before exiting?」「Yes」「No」と表示されます。



設定内容が変更されていない場合は、手順2のメッセージは表示されず、ただちに BIOS SETUP が終了します。

3 【→】キーを押して「No」を選択し、【Enter】キーを押します。

このとき「Yes」を選択した場合は、設定内容が CMOS RAM に保存されます。

● QuietBoot 時の BIOS SETUP の起動

QuietBoot は、BIOS SETUP の Boot メニューで設定します。ここで「Boot-time Diagnostic Screen」を「Disabled」に設定すると、POST の診断メッセージが表示されずに QuietBoot 画面が表示されます。

QuietBoot を設定した場合の画面の状態を以下に示します。

- POST 中に【Esc】キーを押すと、QuietBoot を中止して POST 画面を表示することができます。また、【Esc】キーの代わりに【F2】キーを押すと、BIOS SETUP が起動されます。
- POST 中にエラーが発生した場合は、"Press <F1> to resume, <F2> to SETUP" というメッセージが表示され、キー入力を待ちます。
- 拡張 ROM-BIOS でキー入力の要求を促すような設定をしている場合、QuietBoot は中止され、通常の POST 画面に戻り、設定された情報が表示されます。

2.2 BIOS SETUP のメニュー

BIOS SETUP のメニューは、以下の 5 つに分かれています。さらに、Main メニュー、Advanced メニューおよび Boot メニューには、より詳細な設定を行うためのサブメニューが用意されています。

メニュー名	内容	参照ページ
Main	日時やドライブの設定などの基本的なシステムコンフィグレーションに関する設定を行います。	7 ページ
Advanced	内蔵機器のポートアドレスやチップセットに関連した高度な設定を行います。	12 ページ
Power	省電力モードに関する設定を行います。	17 ページ
Boot	起動時に関する設定を行います。	20 ページ
Exit	BIOS SETUP の終了、設定値の変更および保存を行います。	23 ページ

以降、各メニューの項目の詳細について説明します。



CMOS のバックアップバッテリーが切れた場合、BIOS SETUP メニューの設定が工場出荷設定値に戻ります。

(1) Main メニュー

日時やドライブの設定などの、基本的なシステムコンフィグレーションに関する設定を行います。

PhoenixBIOS Setup Utility	
Main	Advanced Power Boot Exit
System Time :	[00:00:00]
System Date :	[01/01/1989]
Legacy Diskette A :	[Disabled]
Legacy Diskette B :	[Disabled]
▶ Primary Master	[30020MB]
▶ Primary Slave	[None]
▶ Memory Cache	
System Memory :	640 KB
Extended Memory :	521728 KB
Item Specific Help	
<Tab>, <Shift-Tab>, or <Enter> selects field.	
F1 Help	↑ ↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults
ESC Exit	← → Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit

□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

System Time 時 : 分 : 秒を設定します。【Tab】キーまたは【Enter】キーで次のフィールドにカーソルを移動して、数値を入力します。

System Date 月 / 日 / 年 (西暦) を設定します。【Tab】キーまたは【Enter】キーで次のフィールドにカーソルを移動して、数値を入力します。

Legacy Diskette A フロッピーディスクドライブ A を使用するかどうかを設定します。本製品は、レガシーフロッピーディスクをサポートしません。常に「Disabled」で使用してください。

■ **Disabled** フロッピーディスクドライブを使用しません。

□ **1.44MB 3½** 3.5 インチ 1.44MB ドライブを使用します。

Legacy Diskette B フロッピーディスクドライブ B を使用するかどうかを設定します。本製品は、レガシーフロッピーディスクをサポートしません。常に「Disabled」で使用してください。

■ **Disabled** フロッピーディスクドライブを使用しません。

□ **1.44MB 3½** 3.5 インチ 1.44MB ドライブを使用します。

Primary Master マスタードライブのハードディスクタイプ (容量やシリンダ数など) を設定します。



「●ハードディスク詳細設定」(→ 9 ページ)

Primary Slave スレーブドライブのハードディスクタイプ (容量やシリンダ数など) を設定します。



「●ハードディスク詳細設定」(→ 9 ページ)

Memory Cache メモリキャッシュの設定を行います。



「●Memory Cache 設定」(→ 11 ページ)

System Memory 基本メモリ容量が表示されます。この項目は、POST 時に自動的に検出されます。変更はできません。

Extended Memory 拡張メモリ容量が表示されます。この項目は、POST 時に自動的に検出されます。変更はできません。

(2) Main メニューのサブメニュー

ここでは、Main メニューのサブメニューについて説明します。

●ハードディスク詳細設定

PhoenixBIOS Setup Utility	
Main	
Primary Master [30020MB]	Item Specific Help
Type : [Auto]	User = you enter parameters of hard-disk drive installed at this connection. Auto = autotypes hard-disk drive installed here. CD-ROM = a CD-ROM drive is installed here.
LBA Format	
Total Sectors : 58633344	
Maximum Capacity : 30020MB	
Multi_Sector Transfers : [16 Sectors]	
LBA Mode Control : [Enabled]	
32 Bit I/O : [Disabled]	
Transfer Mode : [Fast PIO 4]	
Ultra DMA Mode : [Mode 2]	
F1 Help ↑ ↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults ESC Exit ← → Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit	

この画面では、BIOS で認識したハードディスクの LBA（論理ブロックアドレッシング）での総セクタ数から算出したハードディスク容量を表示します。そのため、LBA をサポートしていない古いタイプのハードディスクを接続した場合、容量は 0MB と表示されます。この場合、シリンダ数、ヘッド数、およびセクタ数から算出した容量分までの領域が使用できます。

□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

Type

ハードディスクの接続の有無や各パラメータを設定します。

■ Auto

自動的にハードディスクの接続の有無やタイプを設定します。接続されている場合、各パラメータ（シリンダ数、ヘッド数、セクタ数、プリコンプ値）は、ハードディスクの情報に従って自動的に設定されます。

□ None

ハードディスクを未接続とします。

□ CD-ROM

CD-ROM（IDE）ドライブを接続します。

□ ATAPI

ATAPI リムーバブルデバイスを接続します。

Removable

□ User

各パラメータ（シリンダ数、ヘッド数、セクタ数、プリコンプ値）を直接指定します。

Multi_Sector Transfers

複数のセクタのデータを一括して転送するかどうかを設定します。「Type」を「CD-ROM」、「ATAPI Removable」または「User」に設定した場合に設定可能です。

- Disabled** 1セクタずつ転送します。
- 2 Sectors ~ 16 Sectors** 一括して転送するセクタ数を選択します。数値が大きくなるほどデータの転送速度は上がりますが、一括転送の効果が現れるセクタ数は、ドライブのキャッシュ容量に左右されます。
- 16 Sectors**

LBA Mode Control

LBA（論理ブロックアドレッシング）モードを使用するかどうかを設定します。「Type」を「CD-ROM」、「ATAPI Removable」または「User」に設定した場合に設定可能です。

- Disabled** LBAモードを使用しません。
- Enabled** LBAモードを使用します。Enabledを設定する場合は、LBAモードに対応したドライブが必要です。

32 Bit I/O

内蔵IDEコントローラとCPUの間で、32ビット転送を行うかどうかを設定します。「Type」を「None」以外に設定した場合に設定可能です。

- Disabled** 32-Bit I/Oを使用しません。
- Enabled** 32-Bit I/Oを使用します。

Transfer Mode

データの転送モードを設定します。「Type」を「CD-ROM」、「ATAPI Removable」または「User」に指定した場合に設定可能です。

各モードの設定では数値が大きくなるほど転送速度が上がりますが、設定した各モードに対応したドライブが必要です。

- Standard** PIO Mode 0 に設定します。
- Fast PIO 1 ~ 4** Fast PIO Mode 1 ~ 4 のいずれかを選択します。
- Fast PIO 4**
- FPIO 3/DMA 1** Fast PIO Mode 3 または DMA Mode 1 を使用します。
- FPIO 4/DMA 2** Fast PIO Mode 4 または DMA Mode 2 を使用します。

Ultra DMA Mode

Ultra DMA モードを使用するかどうかを設定します。「Type」を「CD-ROM」、「ATAPI Removable」または「User」に指定した場合に設定可能です。

- Disabled** Ultra DMA モードを使用しません。
- Mode 0 ~ 5** Ultra DMA の転送モードを選択します。Ultra DMA
- Mode 2** モードを設定する場合は、Ultra DMA モードに対応したドライブが必要です。

● Memory Cache 設定

PhoenixBIOS Setup Utility	
Main	
Memory Cache	Item Specific Help
Memory Cache : [Enabled] Cache System BIOS area : [Enabled] Cache Video BIOS area : [Enabled]	Sets the state of the memory cache.
F1 Help ↑ ↓ Select Item - / + Change Values F9 Setup Defaults ESC Exit ← → Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit	

□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

Memory Cache 2次キャッシュ (L2 キャッシュ) を使用するかどうかを設定します。

□ **Disabled** L2 キャッシュを使用しません。

■ **Enabled** L2 キャッシュを使用します。

Cache System BIOS area システム BIOS のエリアを、キャッシュ対象とするかどうかを設定します。

□ **Disabled** システム BIOS のエリアをキャッシュ対象としません。

■ **Enabled** システム BIOS のエリアをキャッシュ対象とします。

Cache Video BIOS area ビデオ BIOS のエリアを、キャッシュ対象とするかどうかを設定します。

□ **Disabled** ビデオ BIOS のエリアをキャッシュ対象としません。

■ **Enabled** ビデオ BIOS のエリアをキャッシュ対象とします。

(3) Advanced メニュー

内蔵機器のポートアドレスやチップセットに関連した高度な設定を行います。

PhoenixBIOS Setup Utility				
Main	Advanced	Power	Boot	Exit
<p>▶ PCI Configuration ▶ I/O Device Configuration</p> <p>Legacy USB Support : [Enabled] Installed O/S : [Win2000] Enable ACPI : [Yes] Reset Configuration Data : [No]</p> <p>PS/2 Mouse : [Auto Detect]</p> <p>LAN Controller : [Enabled] PXE : [Disabled]</p> <p>AC97 Audio : [Enabled]</p> <p>Video Output: [CRT only]</p> <p>Primary IDE Cable: [Auto Detect]</p>				<p>Item Specific Help</p> <p>Additional setup menus to configure PCI devices</p>
F1 ESC	Help Exit	↑ ↓ ← → Select Item Select Menu	- / + Enter Change Values Select Sub-Menu	F9 F10 Setup Defaults Save and Exit

□: 設定項目 ■: 工場出荷設定値

PCI Configuration 外部 PCI スロットに対する資源の割り当ての設定を行います。



「● PCI Configuration 設定」(→ 14 ページ)

I/O Device Configuration

内蔵機器の I/O ポートアドレスや割込みレベルの設定などを行います。



「● I/O Device Configuration 設定」(→ 15 ページ)

Legacy USB Support

USB をサポートしていない環境 (DOS など) で、USB キーボードや USB マウスを、PS/2 キーボードやマウスとして使用するかどうかを設定します。

- **Enabled** USB デバイスを従来のデバイスとして使用できます。
- **Disabled** USB デバイスは使用しません。

Installed O/S

使用する OS を設定します。

- **Win2000** Windows 2000、Windows XP 向けの設定です。
- **Win98** 本製品では使用しません。
- **Other** Linux など、他の OS 向けの設定です。



本項目を「Win2000」に設定した場合、Boot に関連しないデバイスの設定はすべて Plug and Play OS に任せられます。BIOS では設定を行いません。

Enable ACPI

パワーマネジメントインタフェースとして、ACPI を使用するかどうかを設定します。

- Yes** ACPI を使用します。
- No** ACPI を使用しません。

Reset Configuration Data

Extended System Configuration Data (ESCD) 領域のデータ初期化を設定します。「Yes」に変更後、再起動すると、データが初期化されます。PCI カードなどのコンフリクトを原因とする起動エラー (Invalid System Configuration Data) が発生した場合、本機能により解決できる場合があります。



本項目の設定値は、データ初期化を実行後、自動的に「No」へ戻ります。

PS/2 Mouse

PS/2 タイプのマウスを使用するかどうかを設定します。「Disabled」にしても、マウスで使用される IRQ12 は解放されません。

- Enabled** PS/2 タイプのマウスを使用します。
- Disabled** PS/2 タイプのマウスを使用しません。
- Auto Detect** マウスを自動検出します。

LAN Controller

本体内の LAN コントローラを使用するかどうかを設定します。

- Enabled** LAN コントローラを使用します。
- Disabled** LAN コントローラを使用しません。

PXE

本体内の PXE (Pre-boot eXecution Environment) を使用するかどうかを設定します。

- Enabled** PXE を使用します。
- Disabled** PXE を使用しません。

AC97 Audio

本項目は、本製品の動作には影響しません。

Video Output

ビデオの出力先を設定します。本製品は、デジタル出力をサポートしません。常に「CRT only」で使用してください。

- CRT & LCD** CRT と LCD を同時に表示します。
- CRT Only** CRT のみ表示します。

Primary IDE Cable

使用する IDE ケーブルタイプを設定します。

- Auto Detect** ケーブルタイプを自動判別します。
- 80-Wire** Ultra ATA/100 まで対応可能な IDE 80 芯 (40pin) ケーブルを使用します。
- 40-Wire** Ultra ATA/33 まで対応可能な IDE 40 芯 (40pin) ケーブルを使用します。

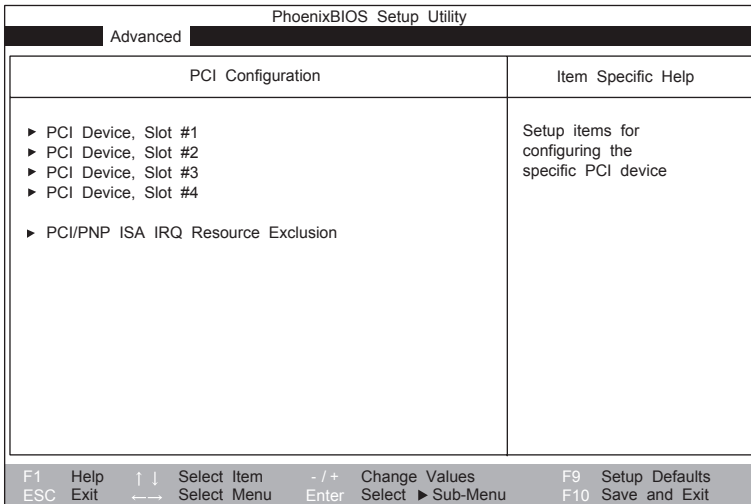


- IDE デバイス側の仕様により、IDE 80 芯（40pin）ケーブルを使用しているも、そのケーブルの自動判別ができない場合があります。
- Main メニューの「Primary Master」および「Primary Slave」の「Type」が「Auto」であるときの「Ultra DMA Mode」が、そのデバイスで対応可能な最も高い転送モードであることを確認してください。最も高い転送モードになっていない場合、本メニューで「80-Wire」に変更後、再起動すると転送モードが変更される場合があります。

(4) Advanced メニューのサブメニュー

ここでは、Advanced メニューのサブメニューについて説明します。

● PCI Configuration 設定



**PCI Device,
Slot #n**

PCI デバイスまたはスロット #1 ~ #4 の設定を行います。



「● PCI Device, Slot 設定」(→ 16 ページ)

**PCI/PNP ISA IRQ
Resource
Exclusion**

本製品では使用しません。

● I/O Device Configuration 設定

PhoenixBIOS Setup Utility	
Advanced	
I/O Device Configuration	Item Specific Help
Serial port A : [Auto]	Configure serial port A using options : [Disabled] No configuration [Enabled] User configuration [Auto] BIOS or OS chooses configuration
Serial port B : [Auto]	
Parallel port : [Disabled]	
F1 Help ↑ ↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults ESC Exit ← → Select Menu Enter Select ► Sub-Menu F10 Save and Exit	

□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

Serial port A Serial port B

シリアルポート A (または B) の I/O ポートアドレスおよび IRQ (割り込みレベル) を設定します。

Enabled シリアルポート A (または B) を使用します。「Enabled」を選択した場合は、以下の詳細設定項目が表示されます。

Base I/O address I/O ポートアドレスを以下の 4 種類の中から選択します。

3F8、2F8、3E8、2E8

Interrupt 割り込みレベルを表示します。

IRQ4、IRQ3



「Base I/O address」と「Interrupt」の組み合わせには、以下の 4 種類があります。

3F8 - IRQ4、2F8 - IRQ3

3E8 - IRQ4、2E8 - IRQ3

「Base I/O address」を選択すると、「Interrupt」は自動的に表示されます。

Auto シリアルポート A (または B) を使用します。I/O ポートアドレスおよび割り込みレベルは自動的に設定されます。



Advanced メニューの「Installed O/S」が、「Win2000」に設定されている場合は、BIOS では I/O ポートアドレスおよび割り込みレベルの設定は行いません。

Disabled シリアルポート A (または B) を使用しません。

Parallel port

本製品は、パラレルポートをサポートしていません。常に「Disabled」で使用してください。

- Enabled** 内蔵パラレルポートを使用します。
- Auto** 内蔵パラレルポートを使用します。動作モード設定は自動です。
- Disabled** 内蔵パラレルポートを使用しません。

● PCI Device, Slot 設定

PhoenixBIOS Setup Utility		
Advanced		
PCI Device, Slot #1		Item Specific Help
Option ROM Scan :	[Enabled]	Initialize device expansion ROM
Enable Master :	[Enabled]	
Latency Timer :	[004h]	

F1 Help ↑ ↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults
ESC Exit ← → Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit

□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

Option ROM Scan PCI デバイスに搭載されているオプション ROM をスキャンするかどうかを設定します。

- Enabled** スキャンします。
- Disabled** スキャンしません。

Enable Master 接続されているデバイスを、PCI バスマスターデバイスとして使用するかどうかを設定します。

- Enabled** バスマスターデバイスとして使用します。
- Disabled** バスマスターデバイスとして使用しません。

Latency Timer バスマスターデバイスとして使用する場合の PCI バスの使用優先度を設定します。

- Default** 標準の優先度とします。
- 0020h ~ 00E0h** 優先度を PCI バスクロック数で設定します。高速なデバイスに対して大きな値を設定すると、高い性能が得られます。
- 0040h**

(5) Power メニュー

省電力モードに関する設定を行います。

PhoenixBIOS Setup Utility				
Main	Advanced	Power	Boot	Exit
ACPI Standby Mode:	[S3]			
After Power Failure:	[Last State]			
Wake On LAN:	[Disabled]			
Wake On LAN from S5:	[Disabled]			
Power Savings :	[Disabled]			
Idle Mode :	[Off]			
Standby Timeout :	[Off]			
Auto Suspend Timeout :	[Off]			
Suspend Mode :	[Suspend]			
Resume On Modem Ring :	[Off]			
Resume On Time :	[Off]			
Resume Time :	[00:00:00]			
Thermal Temperature Setting :	110.0°C			
Thermal Throttle Mode :	Enabled			
Thermal Throttle Duty :	25%			

Item Specific Help

Maximum Power Savings conserves the greatest amount of system power. Maximum Performance conserves power but allows greatest system performance. To alter these settings, choose Customized. To turn off power management, choose Disabled.

F1 Help	↑ ↓ Select Item	- / + Change Values	F9 Setup Defaults
ESC Exit	← → Select Menu	Enter Select ▶ Sub-Menu	F10 Save and Exit



- ACPI の環境設定に使用する項目は、「ACPI Standby Mode」と「Wake On LAN from S5」です。
- 「After Power Failure」の設定については、ACPI と APM 両方の環境で有効です。
- その他の項目は、APM の環境設定に使用します。
- APM モードでは、Power メニューの設定項目のうち、「Suspend Mode」、「Resume On Modem Ring」および「Resume On Time」の設定だけが有効となり、その他の項目の設定は無効になります。

□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

ACPI Standby Mode

ACPI のスタンバイモードを選択します。

■ S3

作業内容をメモリに保存し、メモリ以外のすべてのデバイスの電源を切ります。

□ S1

CPU の命令実行を停止します。省電力の効果は、「S3」に設定した場合より小さくなります。「S3」に設定すると問題が発生するデバイスを接続している場合に使用します。

After Power Failure

停電発生後の、電源供給再開時の動作を設定します。

□ Stay Off

電源スイッチを押すまで電源が入りません。

■ Last State

停電前の電源状態に戻ります。

□ Power On

停電前の電源状態にかかわらず、電源を入れます。

Wake On LAN

APM 環境での Wake On LAN の使用を設定します。

- Disabled** Wake On LAN を使用しません。
- Enabled** Wake On LAN を使用します。

Wake On LAN from S5

ACPI 環境で、S5 (soft off) 状態からの Wake On LAN の使用を設定します。ACPI の場合、S5 以外の状態からの Wake On LAN は、ソフトウェアで設定します。

- Disabled** Wake On LAN を使用しません。
- Enabled** Wake On LAN を使用します。

Power Savings

APM インタフェースによる省電力モードのレベルを設定します。

- Disabled** 自動的に省電力モードに移行しません。ただし、電源スイッチを押すことでサスペンド/レジュームは行えます。
- Customized** 本メニューの「Idle Mode」、「Standby Timeout」および「Auto Suspend Timeout」の各項目を個別に設定できるようにします。
- Maximum Power Savings** バッテリ稼働時間を重視した省電力モードに、「Idle Mode」、「Standby Timeout」および「Auto Suspend Timeout」の値を設定します。
- Maximum Performance** パフォーマンスを重視した省電力モードに、「Idle Mode」、「Standby Timeout」および「Auto Suspend Timeout」の値を設定します。



設定するモードによって、APM の状態は次のようになります。

「Disabled」設定時 : Disabled

「Disabled」以外設定時 : Enabled

Idle Mode

一定時間キー入力やデータの入出力がない場合に、アイドルモードに移行するかどうかを設定します。アイドルモードでは、CPU のクロック速度が落ちた状態になります。

- On** アイドルモードに移行します。
- Off** アイドルモードに移行しません。

Standby Timeout

キー入力やデータの入出力がない場合に、自動的にスタンバイモードに移行するまでの時間を設定します。スタンバイモードでは、ディスプレイの表示が消えて、ハードディスクのスピンを停止した状態になります。

- 1 ~ 16Minutes** スタンバイモードに移行するまでの時間を設定します。
- Off** 自動的にスタンバイモードに移行しません。



「Idle Mode」の設定値が「On」である場合、実際にスタンバイモードへ移行するまでの時間は、本設定値にアイドルモードへの移行時間 (1 分固定) を加算した時間となります。

**Auto Suspend
Timeout**

自動的にサスペンドするまでの時間を設定します。

5 ~ 60Minutes サスペンドするまでの時間 (分) を設定します。

Off 自動的にサスペンドモードに移行しません。

Suspend Mode

サスペンドモード時の処理を設定します。

Suspend CPU を停止状態にします。

Save To RAM メモリの内容を DRAM に退避し、DRAM をセルフリフレッシュに、CPU および各種 I/O の電源を切断します。

Save To Disk メモリの内容をハードディスク上の Save To Disk 領域に退避してから、すべての電源を切断します。Suspend モード、Save To RAM モードに比べて、このモードへの移行・復帰には時間がかかります。

**Resume On
Modem Ring**

モデムの Ring 信号を検出して、サスペンド状態からレジューム操作を行うかどうかを設定します。

Off レジュームしません。

On レジュームします。

Resume On Time

指定した時刻に、サスペンド状態からレジュームするかどうかを設定します。

Off レジュームしません。

On レジュームします。

Resume Time

Resume On Time (レジュームする時刻) を、時 : 分 : 秒の 24 時間で指定します。この設定は、Resume On Time が「On」のとき有効です。また、Save To Disk モードでは意味を持ちません。

**Thermal
Temperature
Setting**

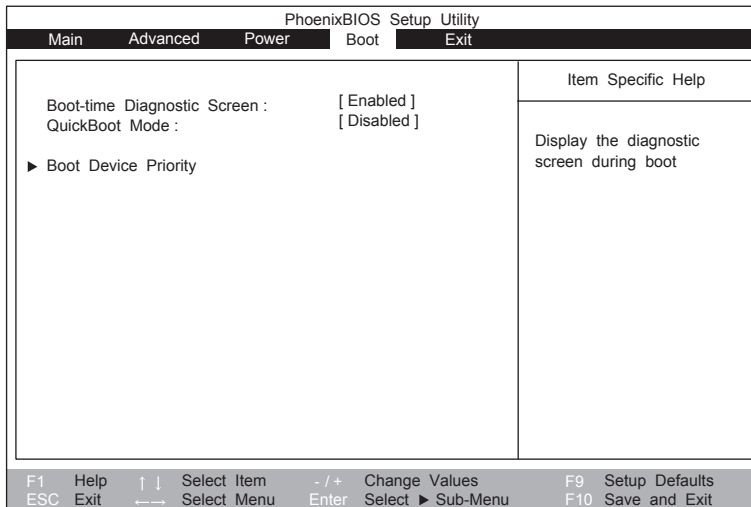
CPU の熱暴走を防止するための Thermal Throttle の状態を表示します。表示のみで、設定の変更はできません。表示される情報は、Throttle 設定温度、設定の有無、Duty です。

**Thermal Throttle
Mode****Thermal Throttle
Duty**

Throttle 設定温度 / 設定の有無 / Duty の値は、実際のメニュー画面の値と異なる場合があります。

(6) Boot メニュー

起動時に関する設定を行います。



□ : 設定項目 ■ : 工場出荷設定値

- Boot-time Diagnostic Screen** POST 時の診断画面やメッセージを表示するかどうかを指定します。
- **Enabled** POST の診断画面やメッセージを表示します。
 - **Disabled** POST の診断画面やメッセージを表示せずに、ロゴ（グラフィックイラスト）のみを表示します。
- QuickBoot Mode** QuickBoot を行うかどうかを指定します。
- **Enabled** メモリチェックなどを簡素化し、POST 処理を短縮します。
 - **Disabled** 通常の POST 処理を行います。
- Boot Device Priority** 起動ドライブの優先順位の設定を行います。



「(7) Boot メニューのサブメニュー」 (→ 21 ページ)

(7) Boot メニューのサブメニュー

Boot メニューのサブメニューについて説明します。

PhoenixBIOS Setup Utility	
Boot	
Boot Device Priority	Item Specific Help
+ Removable Devices + Hard Drive CD-ROM Drive Network Boot	Keys used to view or configure devices : <Enter> expands or collapses device with a + or - <Ctrl + Enter> expands all <Shift + 1> enables or disables a device. <+> or <-> moves the device up or down.
F1 Help ↑↓ Select Item -/+ Change Values F9 Setup Defaults ESC Exit → Select Menu Enter Select ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit	

起動ドライブの優先順位を設定します。以下のキー入力を行うことによって、優先順位の変更、およびそのドライブからのブートを有効にするか無効にするかを設定できます。

- + キー** カーソルのあるエントリを上位の優先順位にします。
- キー** カーソルのあるエントリを下位の優先順位にします。
- Shift + 1 キー** そのドライブからブートを有効にするか無効にするかを切り替えます。
- Enter キー** 各エントリの前に「+」がある場合は、詳細情報を表示します。
各エントリの前に「-」がある場合は、詳細情報を非表示にします。

Removable Devices

リムーバブルなドライブからのブートを行います。
リムーバブルなドライブとは、ドライブレターが A となるドライブのことです。フロッピーディスクや LS-120 などのがこれにあたります。
対象となるドライブについては、詳細情報を表示することによって確認できます。

Hard Drive

ハードディスクからのブートを行います。
IDE ディスク、SCSI ディスク、IDE インタフェースに準拠したデバイスなどがこれにあたります。
対象となるドライブについては、詳細情報を表示することによって確認できます。

CD-ROM Drive

ATAPI インタフェース準拠の CD-ROM ドライブからのブートを行います。



前述のドライブを IDE インタフェースのプライマリスレーブに接続する場合は、Main メニューの「Primary Slave」の設定を「Auto」に変更し、システムを再起動後、再度 BIOS SETUP を起動してください。

Network Boot

ブート機能を搭載したネットワークカードを使用して、ネットワークからのブートを行います。

IBA FE Slot 0140 v4110

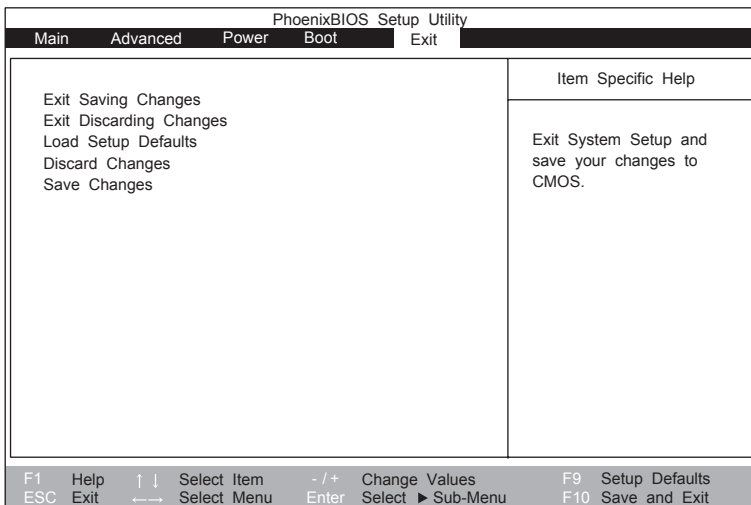
本製品に搭載された LAN コントローラを使用して、ネットワークからのブートを行います。



この項目は、Advanced メニューの「PXE」が「Enabled」の状態で開催した場合にのみ表示されます。

(8) Exit メニュー

BIOS SETUP の終了、設定値の変更および保存を行います。



Exit Saving Changes 設定内容を CMOS RAM に保存して、BIOS SETUP を終了します。

Exit Discarding Changes 設定内容を保存せずに、BIOS SETUP を終了します。

Load Setup Defaults 設定内容を工場出荷設定値に戻します。

Discard Changes CMOS RAM に保存されている設定を読み込んで、前回の設定内容に戻します。

Save Changes 現在の内容を CMOS RAM に保存します。

MEMO

付録 A BIOS メッセージ

POST 時には、Phoenix First BIOS 2.0 の診断メッセージが画面に表示されます。
以下に、Phoenix First BIOS 2.0 のメッセージとその意味について示します。

メッセージ	意味
0200: Failure Fixed Disk	ハードディスクが不良です。 担当営業員に連絡してください。
0210: Stuck Key	キーボードの操作エラー (Stuck Key) です。
0211: Keyboard error	キーボードのエラーです。
0212: Keyboard Controller Failed	キーボードコントローラのエラーです。 担当営業員に連絡してください。
0213: Keyboard locked - Unlock key switch	キーボードがロック状態です。 キースイッチのロックを解除してください。
0220: Monitor type does not match CMOS - Run SETUP	モニタのタイプが CMOS と一致しません。 BIOS SETUP をやり直してください。
0230: System RAM Failed at offset: nnnn	システム RAM のメモリエラーです。 担当営業員に連絡してください。
0231: Shadow Ram Failed at offset: nnnn	シャドウ RAM のメモリエラーです。 担当営業員に連絡してください。
0232: Extended RAM Failed at address line: nnnn	拡張 RAM のメモリエラーです。 担当営業員に連絡してください。
0250: System battery is dead - Replace and run SETUP	バックアップバッテリーの消耗です。バッテリーを交換する必要があります。担当営業員に連絡してください。
0251: System CMOS checksum bad - Default configuration used	CMOS RAM の内容が異常です。 一部工場出荷時の設定で起動します。
0260: System timer error	システムタイマのエラーです。 担当営業員に連絡してください。
0270: Real time clock error	RTC のエラーです。担当営業員に連絡してください。
0271: Check date and time settings	日付と時刻の設定を確認してください。
0280: Previous boot incomplete - Default configuration used	前回正常に起動できなかったため、一部工場出荷時の設定で起動します。
0281: Memory Size found by POST differed from EISA CMOS	POST が検出したメモリサイズが EISA CMOS の内容と一致していませんでした。
02B0: Diskette drive A error	フロッピーディスク (A ドライブ) のエラーです。
02B1: Diskette drive B error	フロッピーディスク (B ドライブ) のエラーです。
02B2: Incorrect Drive A type - run SETUP	フロッピーディスク (A ドライブ) の種別が正しくありません。BIOS SETUP をやり直してください。
02B3: Incorrect Drive B type - run SETUP	フロッピーディスク (B ドライブ) の種別が正しくありません。BIOS SETUP をやり直してください。
02D0: System cache error - Cache disabled	システムキャッシュのエラーです。 キャッシュは使用できません。
xxxx Address Conflict	複数の I/O のアドレスがコンフリクトしています。

メッセージ	意味
Allocation Error for xxxx	xxxx に表示したデバイスによって、リソースのアロケーションエラーが発生しました。
CD ROM Drive	CD-ROM ドライブが識別されました。
Entering SETUP ...	BIOS SETUP を起動中です。
Failing Bits: xxxx	xxxx で示したアドレスでメモリテスト fail が発生しました。担当営業員に連絡してください。
Fixed Disk n:	n 番目 (0 ~ 3) のディスクが検出されました。
Invalid System Configuration Data	システム設定値が正しくありません。
I/O device IRQ conflict	複数の I/O の IRQ がコンフリクトしています。
Keyboard Detected	キーボードが検出されました。
Mouse initialized	マウスが初期化されました。
nxxx M Extended RAM Passed	拡張 RAM のテストが終了しました。
nxxx Cache SRAM Passed	キャッシュ SRAM のテストが終了しました。
nxxx KB Shadow RAM Passed	シャドウ RAM のテストが終了しました。
nxxx KB System RAM Passed	システム RAM のテストが終了しました。
Operating system not found	OS が格納されているデバイスが見つかりません。ドライブが正しく設定されているか確認してください。
Parity Check 1 nxxx	nxxx で示されるシステムバス上でパリティエラーが発生しました。担当営業員に連絡してください。
Parity Check 2 nxxx	nxxx で示される I/O バス上でパリティエラーが発生しました。担当営業員に連絡してください。
Press <F1> to resume, <F2> to Setup, <F3> for previous	POST 時にエラーが発生すると表示されます。【F1】キーを押すと OS、【F2】キーを押すと BIOS SETUP、【F3】キーを押すと拡張 BIOS 上の Setup Utility が起動されます。
Press <F1> to resume, <F2> to Setup	POST 時にエラーが発生すると表示されます。【F1】キーを押すと OS、【F2】キーを押すと BIOS SETUP が起動されます。
Press <F1> to resume, <F3> for previous	POST 時にエラーが発生すると表示されます。【F1】キーを押すと OS、【F3】キーを押すと拡張 BIOS 上の Setup Utility が起動されます。
Press <F1> to resume	【F1】キーを押すと OS が起動されます。
Press <F2> to enter Setup	【F2】キーを押すと BIOS SETUP が起動されます。
System BIOS shadowed	システム BIOS をシャドウしました。
Video BIOS shadowed	ビデオ BIOS をシャドウしました。

付録 B BIOS SETUP

設定シート

以下に、BIOS SETUP の各項目と設定値の一覧を示します。

各メニューのマークは、次を意味します。

: 設定項目 : 工場出荷設定値



CMOS のバックアップバッテリーが切れた場合、BIOS SETUP の設定は工場出荷設定値に戻ります。

Main メニュー

項目	設定値
System Time	時 : 分 : 秒を設定
System Date	月 / 日 / 年 (西暦) を設定
Legacy Diskette A	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> 1.44MB 3 1/2
Legacy Diskette B	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> 1.44MB 3 1/2
Primary Master	
Type	<input checked="" type="checkbox"/> Auto <input type="checkbox"/> None <input type="checkbox"/> CD-ROM <input type="checkbox"/> ATAPI Removable <input type="checkbox"/> User
Multi_Sector Transfers	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> 16 Sectors <input type="checkbox"/> 8 Sectors <input type="checkbox"/> 4 Sectors <input type="checkbox"/> 2 Sectors
LBA Mode Control	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
32Bit I/O	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Transfer Mode	<input type="checkbox"/> Standard <input type="checkbox"/> Fast PIO 1 <input type="checkbox"/> Fast PIO 2 <input type="checkbox"/> Fast PIO 3 <input checked="" type="checkbox"/> Fast PIO 4 <input type="checkbox"/> FPIO 3/DMA 1 <input type="checkbox"/> FPIO 4/DMA 2
Ultra DMA Mode	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Mode 0 <input type="checkbox"/> Mode 1 <input checked="" type="checkbox"/> Mode 2 <input type="checkbox"/> Mode 3 <input type="checkbox"/> Mode 4 <input type="checkbox"/> Mode 5
Primary Slave	
Type	<input checked="" type="checkbox"/> Auto <input type="checkbox"/> None <input type="checkbox"/> CD-ROM <input type="checkbox"/> ATAPI Removable <input type="checkbox"/> User
Multi_Sector Transfers	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> 16 Sectors <input type="checkbox"/> 8 Sectors <input type="checkbox"/> 4 Sectors <input type="checkbox"/> 2 Sectors
LBA Mode Control	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
32Bit I/O	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Transfer Mode	<input type="checkbox"/> Standard <input type="checkbox"/> Fast PIO 1 <input type="checkbox"/> Fast PIO 2 <input type="checkbox"/> Fast PIO 3 <input checked="" type="checkbox"/> Fast PIO 4 <input type="checkbox"/> FPIO 3/DMA 1 <input type="checkbox"/> FPIO 4/DMA 2
Ultra DMA Mode	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Mode 0 <input type="checkbox"/> Mode 1 <input checked="" type="checkbox"/> Mode 2 <input type="checkbox"/> Mode 3 <input type="checkbox"/> Mode 4 <input type="checkbox"/> Mode 5
Memory Cache	
Memory Cache	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Cache System BIOS area	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Cache Video BIOS area	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
System Memory	基本メモリ容量を表示
Extended Memory	拡張メモリ容量を表示

Advanced メニュー

項目	設定値
PCI Configuration	
PCI Device, Slot #1	
Option ROM Scan	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Enable Master	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Latency Timer	<input type="checkbox"/> Default <input type="checkbox"/> 0020h <input checked="" type="checkbox"/> 0040h <input type="checkbox"/> 0060h <input type="checkbox"/> 0080h <input type="checkbox"/> 00A0h <input type="checkbox"/> 00C0h <input type="checkbox"/> 00E0h
PCI Device, Slot #2	
Option ROM Scan	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Enable Master	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Latency Timer	<input type="checkbox"/> Default <input type="checkbox"/> 0020h <input checked="" type="checkbox"/> 0040h <input type="checkbox"/> 0060h <input type="checkbox"/> 0080h <input type="checkbox"/> 00A0h <input type="checkbox"/> 00C0h <input type="checkbox"/> 00E0h
PCI Device, Slot #3	
Option ROM Scan	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Enable Master	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Latency Timer	<input type="checkbox"/> Default <input type="checkbox"/> 0020h <input checked="" type="checkbox"/> 0040h <input type="checkbox"/> 0060h <input type="checkbox"/> 0080h <input type="checkbox"/> 00A0h <input type="checkbox"/> 00C0h <input type="checkbox"/> 00E0h
PCI Device, Slot #4	
Option ROM Scan	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Enable Master	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Latency Timer	<input type="checkbox"/> Default <input type="checkbox"/> 0020h <input checked="" type="checkbox"/> 0040h <input type="checkbox"/> 0060h <input type="checkbox"/> 0080h <input type="checkbox"/> 00A0h <input type="checkbox"/> 00C0h <input type="checkbox"/> 00E0h
I/O Device Configuration	
Serial port A	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> Auto
Serial port B	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> Auto
Parallel port	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Auto
Legacy USB Support	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Installed O/S	<input checked="" type="checkbox"/> Win2000 <input type="checkbox"/> Win98 <input type="checkbox"/> Other
Enable ACPI	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
Reset Configuration Data	<input type="checkbox"/> Yes <input checked="" type="checkbox"/> No
PS/2 Mouse	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled <input checked="" type="checkbox"/> Auto Detect
LAN Controller	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
PXE	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
AC97 Audio	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Video Output	<input type="checkbox"/> CRT & LCD <input checked="" type="checkbox"/> CRT Only
Primary IDE Cable	<input checked="" type="checkbox"/> Auto Detect <input type="checkbox"/> 80-Wire <input type="checkbox"/> 40-Wire

Power メニュー

項目	設定値
ACPI Standby Mode	<input checked="" type="checkbox"/> S3 <input type="checkbox"/> S1
After Power Failure	<input type="checkbox"/> Stay Off <input checked="" type="checkbox"/> Last State <input type="checkbox"/> Power On
Wake On LAN	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Wake On LAN from S5	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Power Savings	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Customized <input type="checkbox"/> Maximum Power Savings <input type="checkbox"/> Maximum Performance
Idle Mode	<input type="checkbox"/> On <input checked="" type="checkbox"/> Off
Standby Timeout	<input type="checkbox"/> 1 ~ 16Minutes <input checked="" type="checkbox"/> Off
Auto Suspend Timeout	<input type="checkbox"/> 5 ~ 60Minutes <input checked="" type="checkbox"/> Off
Suspend Mode	<input checked="" type="checkbox"/> Suspend <input type="checkbox"/> Save To RAM <input type="checkbox"/> Save To Disk
Resume On Modem Ring	<input type="checkbox"/> On <input checked="" type="checkbox"/> Off
Resume On Time	<input type="checkbox"/> On <input checked="" type="checkbox"/> Off
Resume Time	レジュームする時刻を指定
Thermal Temperature Setting	Thermal Throttle の設定温度
Thermal Throttle Mode	Thermal Throttle の設定の有無
Thermal Throttle Duty	Thermal Throttle の Duty

Boot メニュー

項目	設定値
Boot-time Diagnostic Screen	<input type="checkbox"/> Disabled <input checked="" type="checkbox"/> Enabled
QuickBoot Mode	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Boot Device Priority	ブート順を設定 <input type="checkbox"/> Removable Devices <input type="checkbox"/> Hard Drive <input type="checkbox"/> CD-ROM Drive <input type="checkbox"/> Network Boot

付録 C デバイスドライバ について

以下に、Windows XP または Windows 2000 を使用する際の留意事項を記載します。

(1) デバイスドライバ

Windows XP、Windows 2000 で使用可能なデバイスとそのドライバを以下に記します。

デバイス	内容
VGA	ドライバ CD 内のディスプレイドライバを使用してください。
LAN (10M/100M)	ドライバ CD 内の LAN ドライバを使用してください。
USB	○
IDE	○
16bit PC-Card	○
CardBus PC-Card	○
Audio	ドライバ CD 内のオーディオドライバを使用してください。

○ : OS に付属しているドライバを使用してください。

(2) チップセットドライバのインストール

Windows XP、Windows 2000 用チップセットドライバのインストール手順を、以下に示します。

格納場所：ドライバ CD 内の INF フォルダ配下

- 1 ドライバ CD を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 " [CD-ROM ドライブ] :¥INF" を開き、"infinst_enu.exe" を実行します。
「Intel Chipset Software Installation Utility」画面が表示されます。
- 3 [Next] をクリックします。
「License Agreement」画面が表示されます。
- 4 [Yes] をクリックします。
「Readme Informantion」画面が表示されます。
- 5 [Next] をクリックします。
「InstallShield Wizard Complete」画面が表示されます。
- 6 [Yes, I want to restart my computer now] を選択して、[finish] をクリックします。

(3) ディスプレイドライバのインストール

Windows XP、Windows 2000 用ディスプレイドライバのインストール手順を、以下に示します。

格納場所：ドライバ CD 内の Graphics フォルダ配下

- 1 ドライバ CD を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 " [CD-ROM ドライブ] :¥GRAPHICS¥win2k_xp67¥Graphics" を開き、"Setup.exe" を実行します。
「Intel Chipset Graphics Software」画面が表示されます。
- 3 [次へ] をクリックします。
使用許諾契約書が表示されます。
- 4 [はい] をクリックします。
「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。
- 5 [完了] をクリックして、再起動を行います。

(4) LAN ドライバのインストール

Windows XP、Windows 2000 用 LAN ドライバのインストール手順を、以下に示します。

格納場所：ドライバ CD 内の LAN フォルダ配下

- 1 ドライバ CD を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 " [CD-ROM ドライブ] :¥LAN¥Intel-nic¥win2kxp" を開き、"pro2kxpm.exe" を実行します。
「License Agreement」画面が表示されます。
- 3 「I Accept the terms in the license agreement」を選択して、[Next] をクリックします。
「Location to Save」画面が表示されます。
- 4 ファイルを保存するフォルダをフォルダを指定して、[Next] をクリックします。
「Intel(R) PRO Network Connections」画面が表示されます。
- 5 [Install Software] をクリックします。

(5) オーディオドライバのインストール

● Windows XP 用 AC97 ドライバのインストール手順

Windows XP 用 AC97 ドライバのインストール手順を、以下に示します。

格納場所：ドライバ CD 内の AC97 フォルダ配下

- 1 ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 " [CD-ROM ドライブ] :¥AC97¥WDM040mu" を開き、"Setup.exe" を実行します。
「Sound MAX InstallShield」ウィザードが表示されます。
- 3 [次へ] をクリックします。
「ハードウェアのインストール」画面が表示されます。
- 4 [続行] をクリックします。
「InstallShield」ウィザードが表示されます。
- 5 「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、[完了] をクリックします。

● Windows 2000 用 AC97 ドライバのインストール手順

Windows 2000 用 AC97 ドライバのインストール手順を、以下に示します。

格納場所：ドライバ CD 内の AC97 フォルダ配下

- 1 ドライバ格納ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 " [CD-ROM ドライブ] :¥AC97¥WDM040mu" を開き、"Setup.exe" を実行します。
「Sound MAX InstallShield」ウィザードが表示されます。
- 3 [次へ] をクリックします。
デジタル署名確認が表示されます。
- 4 [はい] をクリックします。
InstallShield ウィザードが表示されます。
- 5 「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、[完了] をクリックします。

索引

あ行		Boot-time Diagnostic Screen	20
オーディオドライバのインストール	32		
か行		C	
キャッシュ	11	Cache System BIOS area	11
		Cache Video BIOS area	11
さ行		CD-ROM Drive	22
シリアルポート A	15	CMOS RAM	
シリアルポート B	15	CMOS RAM に保存	5
すべての設定内容を一度に標準設定に戻すには	5	D	
すべての設定内容を一度に変更前の内容に戻すには	5	Discard Changes	23
た行		E	
チップセットドライバのインストール	30	Enable ACPI	13
ディスプレイドライバのインストール	31	Enable Master	16
転送モード	10	Enter キー	21
		Exit Discarding Changes	23
		Exit Saving Changes	23
		Extended Memory	8
		H	
		Hard Drive	21
は行		I	
パラレルポート	16	IBA FE Slot 0140 v4110	22
A		Idle Mode	18
AC97 Audio	13	Installed O/S	12
Auto Suspend Timeout	19	IRQ	15
B		I/O Device Configuration	12
BIOS SETUP	3	I/O ポートアドレス	15
起動	4	L	
終了	5	LAN Controller	13
設定シート	27	LAN ドライバのインストール	31
設定の変更	5	Latency Timer	16
BIOS メッセージ	25	LBA	10
Boot Device Priority	20	LBA Mode Control	10
		Legacy Diskette A	8

Legacy Diskette B	8
Legacy USB Support	12
Load Setup Defaults	23
L2 キャッシュ	11

M

Memory Cache	8, 11
Multi_Sector Transfers	10

N

Network Boot	22
--------------------	----

O

Option ROM Scan	16
OS のインストール	
Linux	2
Windows XP	2
Windows 2000	1

P

Parallel port	16
PCI Configuration	12
PCI Device, Slot #n	14
PCI/PNP ISA IRQ Resource Exclusion 14	
Power Savings	18
Primary IDE Cable	13
Primary Master	8
Primary Slave	8
PS/2 Mouse	13
PXE	13

Q

QuickBoot Mode	20
----------------------	----

R

Removable Device	21
Reset Configuration Data	13
Resume On Modem Ring	19
Resume On Time	19
Resume Time	19

S

Save Changes	23
Serial port A	15
Serial port B	15
Shift + 1 キー	21
Standby Timeout	18
Suspend Mode	19
System Date	8
System Memory	8
System Time	8

T

Thermal Temperature Setting	19
Thermal Throttle Duty	19
Thermal Throttle Mode	19
Transfer Mode	10
Type	9

U

Ultra DMA Mode	10
----------------------	----

V

Video Output	13
--------------------	----

数字

32 Bit I/O	10
------------------	----

その他

+キー	21
-キー	21

エンベデッドコンピュータ AR シリーズ BIOS 説明書
P3XU-E131-02Z0

発行日 2004年7月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。